

「薬膳・漢方検定」試験会場における感染予防対策について

受験者の皆様の安全確保のため、試験会場でおこなう感染予防対策のガイドラインを策定しました。

【ウイルス基本対策—受験者への周知】

- ・受験者の正しいマスクの着用を義務付け、公式サイトや受験票であらかじめ告知。
- ・受験者への検定当日朝の各自検温要請—および、試験当日に37.5℃以上または平熱を1℃以上超える発熱、咳・のどの痛みなどの風邪の症状、だるさ（倦怠感）、息苦しさ、嗅覚や味覚の異常、身体が重く感じる、疲れやすい等のいずれかの症状がある場合の来場自粛。

【ウイルス基本対策—試験会場の衛生環境維持】

- ・運営スタッフの正しいマスクの着用義務付け。
- ・運営スタッフ出勤前の検温実施—および、37.5度以上の発熱があった場合（または平熱比1度超過）の自宅待機指示。
- ・清掃、消毒の実施。（机、椅子、ドアノブ、手すり、エレベーターのボタン等）
- ・検定会場、試験教室入口への消毒液設置および受験者の手指消毒励行。

【密閉対策】

- ・試験時間を含む、各教室出入口や窓の可能な範囲内での開放による、換気の実施。
- ・各試験実施間に、十分な換気時間の設定。
- ・途中退出の承認。（試験開始30分後～試験終了10分前まで）

【密集対策】

- ・教室の入場時や退場時等に行列が生じる場合、可能な限りの間隔を空けた整列を励行。
- ・座席は可能な限りの間隔を開けて配置。
- ・運営スタッフを、会場の管理・運営に必要最小限度に人数調整。

【密接対策】

- ・試験時間以外にも可能な限り私語を慎むよう告知。
- ・文書配布による案内・試験説明。

なお、本ガイドラインは現段階で得られている知見に基づき作成しており、今後の知見の集積及び地域の感染状況等を踏まえて逐次見直すことがありますので、ご注意ください。